厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担）研究報告書

都道府県におけるがん登録データの利用促進のための支援

研究分担者　雑賀　公美子　弘前大学大学院・医学医療情報学講座　客員研究員

研究要旨　都道府県におけるがん登録情報の利活用の支援を目的とした研究を開始した。都道府県はがん対策の充実を図るための基礎資料としてがん登録情報を利用して、性、年齢階級、地域別の罹患率、生存率などを集計して得られた知見を年報として毎年発行している。多くの都道府県ではこの集計に都道府県がんデータベースシステムに搭載されている集計機能を用いており、効率的である一方、集計の項目やその単位などは制限されている。都道府県において医療圏別や詳細な部位別の罹患率や生存率を集計しようとすると、統計ソフトなどの集計ツールが利用できる人しかできない、という課題がある。これらの課題を少しでも解消するために、米国国立がん研究所が提供する SEER*Stat を利用して、都道府県のがん登録実務者が集計できるよう、操作マニュアルを作成した。SEER*Stat は米国 NCI へのアカウントの登録からソフトウェアのダウンロードとインストール等から作業が必要である。この申請作業から、SEER*Stat の基本的なツールである Frequency（数）、Rate（率）および Survival（生存率）の使用方法を記載し、作成した表のエクスポートまでの一連の流れをマニュアル化したが、2025 年 7 月に SEER*Stat のアップデートによりインターフェースが大きく変更となったため、アップデート版に合わせたマニュアルに修正した。さらに、年齢や診断年など一般的には 5 歳階級や各年で自由に変更するのが困難な変数を自由に変更できるようにするオプションについての項目を追加した。

A. 研究目的

都道府県はがん対策の充実を図るためにがん登録情報を利活用し、都道府県住民に対しさまざまな情報提供を行うことが期待されている。そのため、性、年齢階級、地域別の罹患率、生存率などを集計して得られた知見を年報として毎年発行している。多くの都道府県ではこの集計に都道府県がんデータベースシステムに搭載されている集計機能を用いており、効率的である一方、集計の項目やその単位などは制限されている。都道府県において医療圏別や詳細な部位別の罹患率や生存率を集計しようとすると、統計ソフトなどの集計ツールが利用できる人しかできない、という課題がある。これらの課題を少しでも解消するために、米国国立がん研究所（NCI:National Cancer Institute）が提供する SEER*Stat Software（https://seer.cancer.gov/seerstat/）を利用して、都道府県のがん登録実務者（以下、がん登録担当者という）が集計できるようにすることを目的としている。

NCI は米国の住民ベースがん登録のデータ収集から集計、解析までを可能とする標準的なシステムを開発しており、集計に関しては SEER*Stat を用いている。この SEER*Stat はサーバーに保存されたがん登録情報を用いて、さまざまな項目別の罹患率、生存率、有病率等の集計が可能なソフトウェアである。SEER*Stat はオンライン

上で米国の匿名化されたがん登録データにアクセスして集計等が可能である一方で、オフライン上で利用者が独自のがん登録データをデータベース化し、集計することが可能である。この機能を利用し、都道府県のがん登録データを用い、国立がん研究センターで提供されている都道府県がんデータベースシステムに搭載されている集計機能では提供されていない集計が可能となるように、研究班で SEER*Stat 用のデータベースを作成し、SEER*Stat 用に加工したデータベースを都道府県に提供することで都道府県の担当者が自ら様々な集計表を作成するスキームについて、SEER*Stat のソフトのダウンロードから表の作成までの SEER*Stat-操作マニュアル-を昨年度までに作成した。しかし、2025 年 7 月に SEER*Stat のバージョンが上がり、インターフェースが大きく代わったため、新バージョンに合わせた操作マニュアルに変更することと、独自集計が可能な形の追加も行った。

B. 研究方法

SEER*Stat は米国 NCI へのアカウントの登録からソフトウェアのダウンロードとインストール等から作業が必要である。この申請作業から、SEER*Stat の基本的なツールである Frequency（数）、Rate（率）および Survival（生存率）の使用方法、作成した表のエクスポートまでの一連の流れを新バージョンのインターフェースに合わせたマニュアルに更新した。

さらに、年齢や診断年など一般的には 5 歳階級や各年で自由に変更するのが困難な変数を自由に変更できるようにするオプションについての項目を追加した。

（倫理面への配慮）

都道府県のがん対策への利用を目的として、地域がん登録および全国がん登録の匿名化情報の提供申請を行う際に研究者を利用者として申請し、承認を得てがん登録情報を取得した。

C. 研究結果

SEER*Stat-操作マニュアル-を作成した。作成したマニュアルを資料として示す。

D. 考察

都道府県レベルでのがん登録情報を用いた集計に関して SEER*Stat を利用する最低限のマニュアルは作成した。しかし、2025 年 7 月末 SEER*Stat のバージョンが上がり、インターフェースが大きく変更されたため、新バージョンに合わせた記載に変更した。さらに、年齢や診断年など集計者が自由な区分で変更したい変数の処理の仕方についてもマニュアルを追記した公開することができた。

E. 結論

SEER*Stat のソフトを利用する手続きから集計作業の具体的な手法についてまでのマニュアルを公開することができた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

１．論文発表

1) Saika K, Matsuda T, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for all cancers

in the world, Jpn J Clin Oncol, 55(1), 91-92, 2025.
2) Gatellier L, Saika K, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for esophagus cancer in the world, Jpn J Clin Oncol, 55(5), 560-561, 2025.
3) Saika K, Okawa S, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for female breast cancer in the world, Jpn J Clin Oncol, 55(8), 982-983, 2025.
4) Okawa S, Saika K, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for ovarian cancer in the world, Jpn J Clin Oncol, 55(10), 1198-1199, 2025.
5) Saika K, Gatellier L, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for gallbladder cancer in the world, Jpn J Clin Oncol, 55(12), 1401-1402, 2025.
6) Matsuda T, Saika K, Age-standardized mortality-to-incidence ratio for pancreatic cancer in the world, Jpn J Clin Oncol, 56(2), 241-242, 2026

２．学会発表

なし

H.　知的財産権の出願・登録状況

１．特許取得

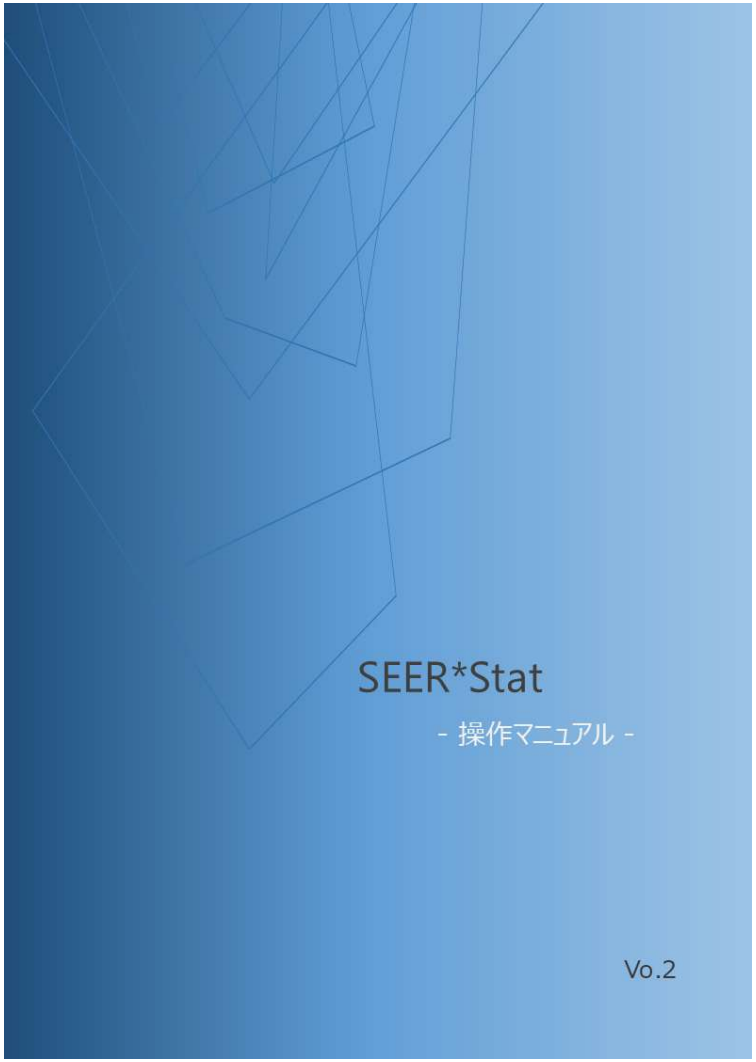
該当なし

２．実用新案登録

該当なし

３．その他

該当なし



SEER*Statソフトウェアを使用するまでの手順

① SEER*statアカウント登録

・ソフトウェアのアカウント登録申請

② SEER*statのダウンロード

③ SEER*statのインストール

・ダウンロードファイルをローカルPCに移してインストール

④ SEER*statの起動、システム設定

・ローカルフォルダの保存場所設定等

⑤ Frequency（数）の使用方法

・罹患数

⑥ Rate（率）の使用方法

・粗罹患率、年齢調整罹患率、累積罹患率

⑦ Survival（生存率）の使用方法

・生存率

⑧ データエクスポート

⑨ その他（オプション）

・fmxファイルの取り込み
・オリジナルのDictionaryの作成

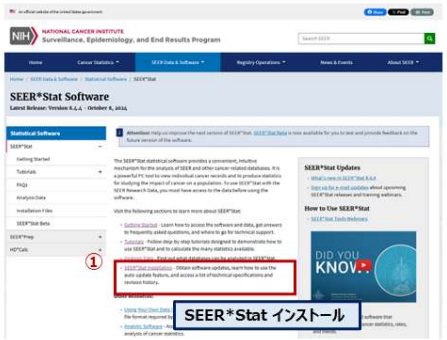
ネットワーク接続

接続あり

接続なし

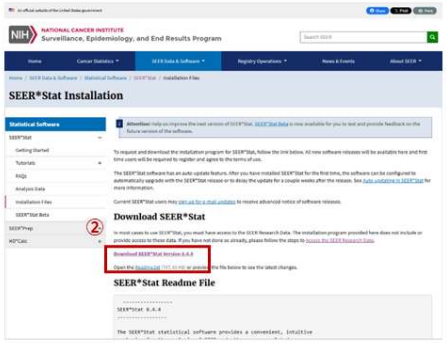
1. 以下のURLにアクセスを行い ① **SEER*Stat Installation** をクリックする

https://seer.cancer.gov/seerstat/



2. ② **Download SEER*Stat Version ●.●.●** をクリックする

※Versionは、ダウンロードのタイミングによって異なります



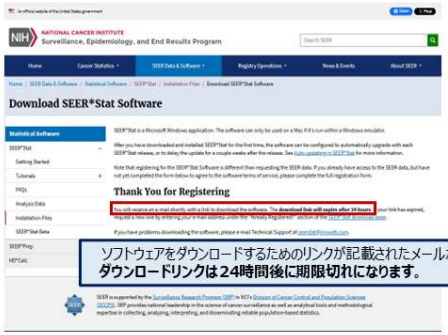
3. ① **I agree to the Terms of Use Agreement**にチェックをいれ、
②入力フォームに入力を行い、③**Request Download**をクリックする



①SEER*statアカウント登録

4. ①前頁（Request Download）のクリック後、以下のページが表示される。
入力フォームで登録したメールアドレスに、
②メール内容が（ダウンロードのリンク先が届き、アカウント登録完了

①



ソフトウェアをダウンロードするためのリンクが記載されたメールがまもなく届きます。
ダウンロードリンクは24時間後に期限切れになります。

② メール内容



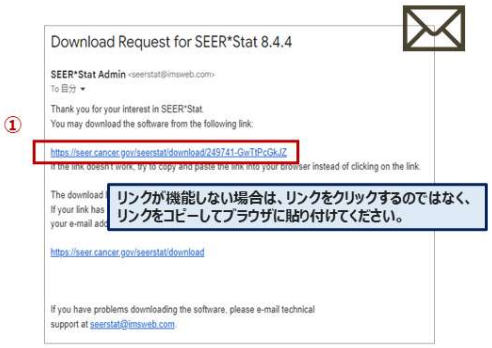
※ メールが届かなかった場合 ※

メールアドレスの入力間違い及び、ダウンロードリンクが期限切れの場合は、
再度、以下のURLからアカウント登録をおこなってください

https://seer.cancer.gov/seerstat/download

②SEER*statのダウンロード

5. メールが届いたら、①URLをクリックする
クリック後すぐに、ダウンロードがはじまり、ダウンロードフォルダにファイルが保存される

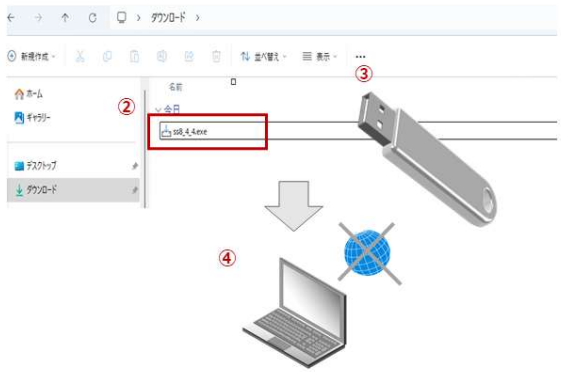


①

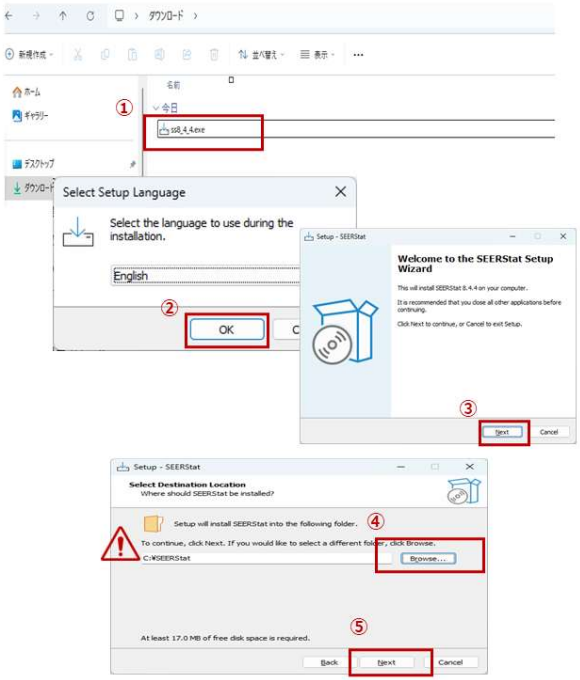
**リンクが機能しない場合は、リンクをクリックするのではなく、
リンクをコピーしてブラウザに貼り付けてください。**

6. ②ss8_4_4.exeのファイルを③USBメモリ等にファイルを保存し、
ネットワークがつながっていない、④PCに、ファイルを移動する。

※ファイル名はダウンロードのバージョンによって異なります



7. 移動先のPCから、ファイルを表示し①クリックする
②セットアップが開始されるので、OKをクリックする
③Nextをクリックし、④インストール場所を指定し、⑤Nextをクリックする



※ インストール場所の指定について ※

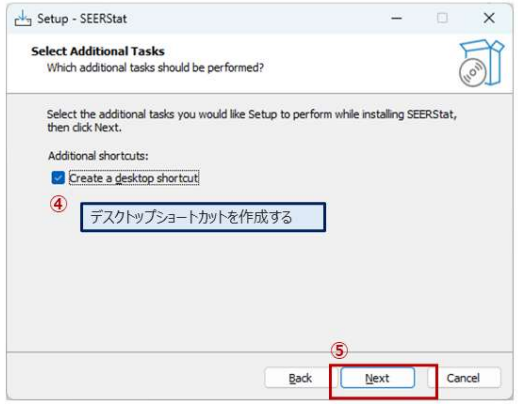
**インストール場所に、「日本語」が含まれているフォルダを指定していると正常に動作しない恐れがあります。適切なインストール場所を指定してください。
不明な場合はシステム担当者にご相談ください。**

③ SEER*statのインストール

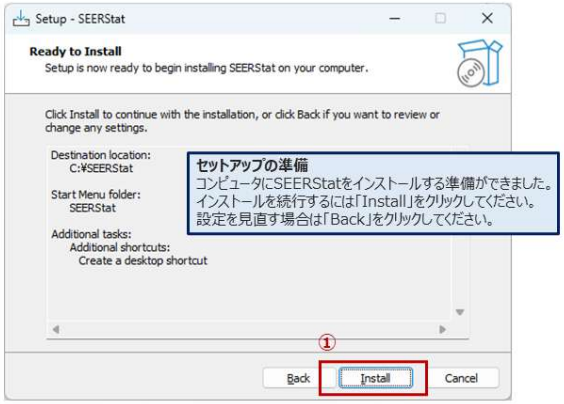
8. ①スタートメニューのフォルダを選択し、 ③「Next」をクリックする
（スタートメニューのフォルダを作成しない場合は②チェックを入れ、③「Next」をクリック）



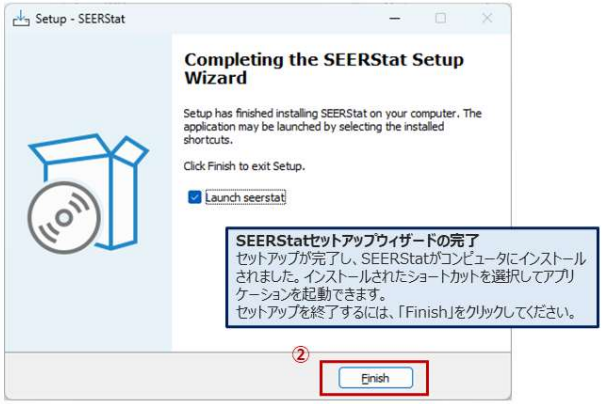
9. ④デスクトップにショートカットを作成するにチェックを入れ⑤「Next」をクリック



10. ①「Install」をクリックする

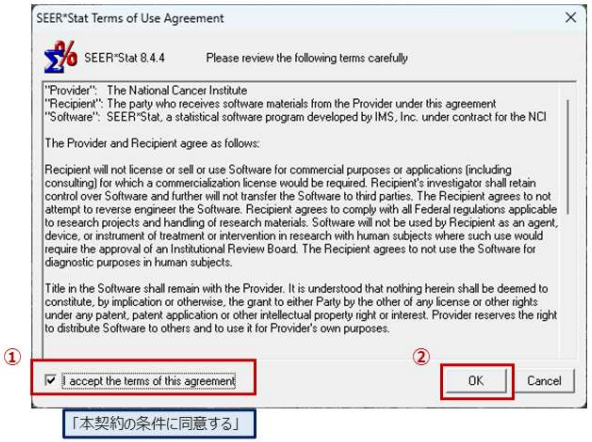


11. セットアップ完了。②「Finish」をクリックする



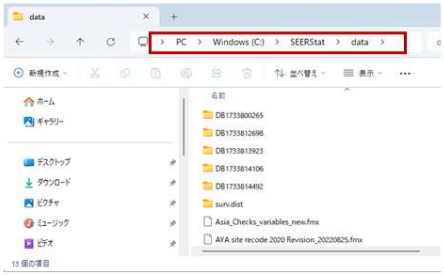
③ SEER*statのインストール

12. ①利用規約、「本契約の条件に同意する」にチェックを入れ、②「OK」をクリックし、インストール開始



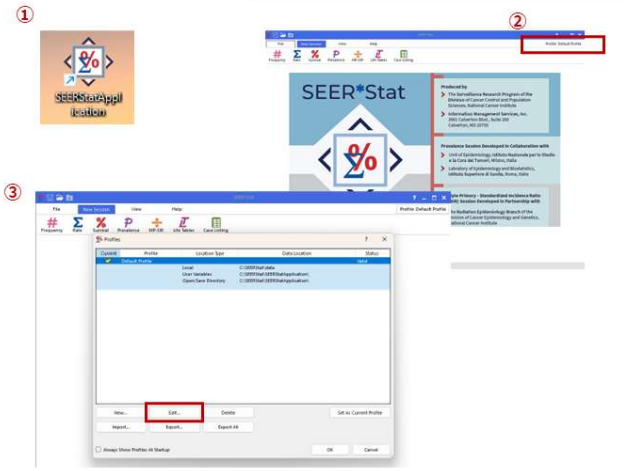
SEER*Stat インストール完了

1. 起動前に、提供されたデータセット3種類（罹患データ、生命表、標準人口）のフォルダおよびfmxファイルを、例としてCの直下等（ C:¥SEERStat¥data ）にSEERStat 用のフォルダを作成して、データセットを保存しておく（※日本語フォルダ名不可）



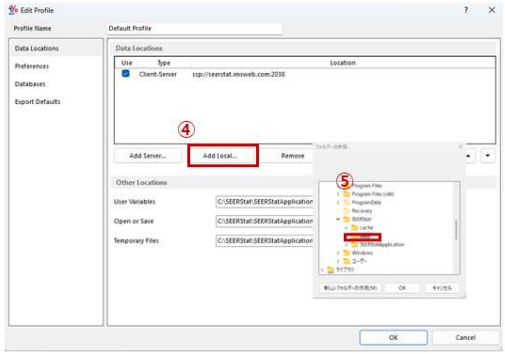
2. Desktopのショートカットまたは、インストール場所から①「SEERStatApplication」をクリックして起動する。②メニューバーの「Profile:Default Profile」を選択し開く。
Profilesの③「Edit」をクリックする

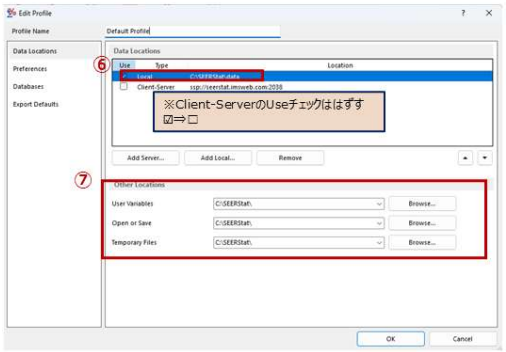
※初めて起動した場合は、次ページの④からの設定になる場合があります



④SEER*statの起動、システム設定
－ローカルフォルダ保存場所設定－

④「Add local」をクリックして、**1.**で指定した（提供されたデータセット3種類（罹患データ、生命表、標準人口）が置いてあるフォルダのパス）
⑤ （例： C:¥SEERStat¥data ）を選択する
⑥「 Client-Server」のUseチェックははずす
⑦「Other Locations」のパスを選択する（例： C:¥SEERStat ）





3. Sessionの詳細



① Frequency	frequency	頻度、発生回数	・罹患数
② Rate	Rate	率	・粗罹患率、年齢調整罹患率 ・累積罹患率
③ Survival	Survival	生存率	・生存率

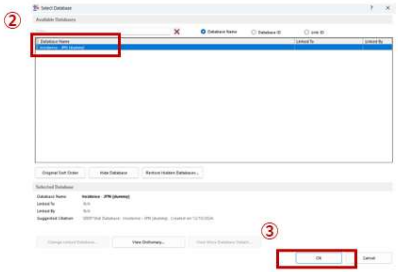
lesson1

1. ①「罹患数」を算出する

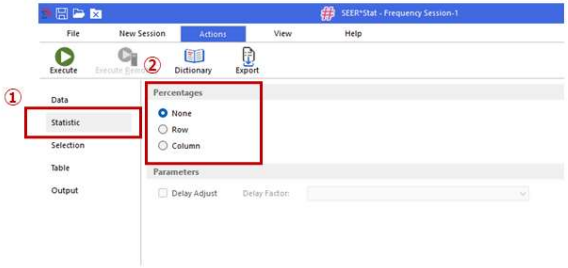
	Male and female	Not stated (unknown)	Male	Female
C00.0-External upper lip	11	0	4	7
C00.1-External lower lip	35	0	15	20
C00.2-External lip, unspecified	1	0	0	1
C00.3-Upper lip, inner aspect	11	0	6	5
C00.4-Lower lip, inner aspect	13	0	5	8
C00.5-Lip, unspecified, inner aspect	1	0	1	0
C00.6-Commissure of lip	1	0	1	0
C00.9-Lip, unspecified	13	0	6	7
C01 -Malignant neoplasm of base of tongue	304	0	246	58
C02.0-Dorsal surface of tongue	58	0	38	20
C02.1-Border of tongue	1,756	0	1,079	677
C02.2-Ventral surface of tongue	104	0	65	39
C02.3-Anterior two-thirds of tongue, part unspecified	10	0	5	5
C02.9-Tongue, unspecified	331	0	179	152
C03.0-Upper gum	522	0	249	273
C03.1-Lower gum	676	0	363	313
C03.9-Gum, unspecified	83	0	36	47
C04.0-Anterior floor of mouth	64	0	54	10
C04.1-Lateral floor of mouth	125	0	92	33
C04.8-Overlapping lesion of floor of mouth	2	0	2	0
C04.9-Floor of mouth, unspecified	195	0	140	55
C05.0-Hard palate	114	0	69	45
C05.1-Soft palate	143	0	116	27
C05.2-Uvula	34	0	29	5

2. ①「Frequency Session」をクリックする
② Database NameからDatabaseを選択しクリックし、③OKをクリックする

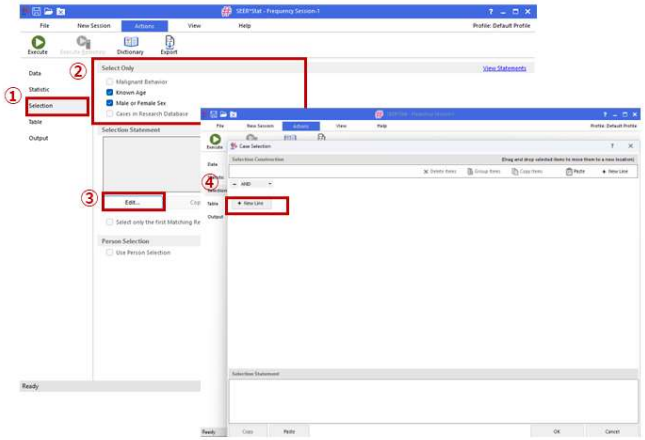




3. ①メニューの「Statistic」をクリックする。②Percentagesの「None」を選択する

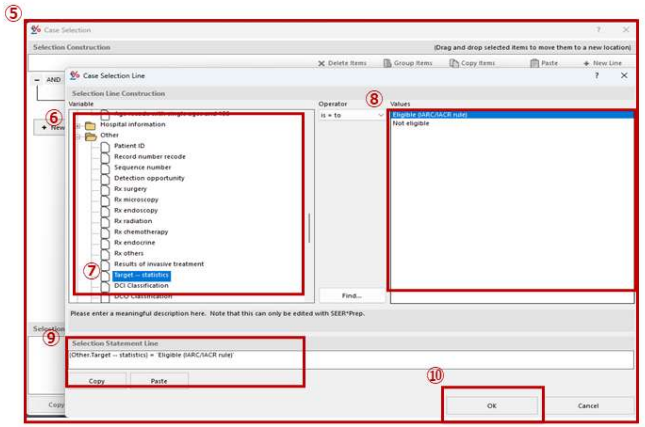


4. ①メニューの「Selection」をクリックする。
②「Select Only」で「Known Age」、「Male or Female Sex」を選択し、「Selection Statement」の
③「Edit..」をクリックし、「Case Selection」を開き、④「New Line」をクリック

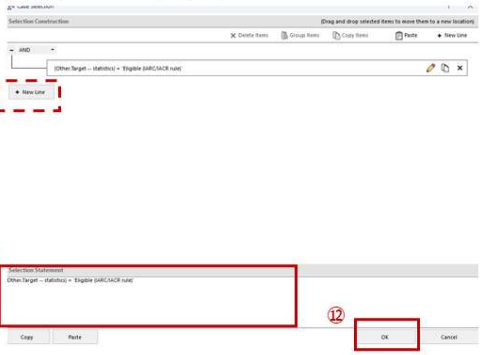


⑤Frequency（数）使用方法

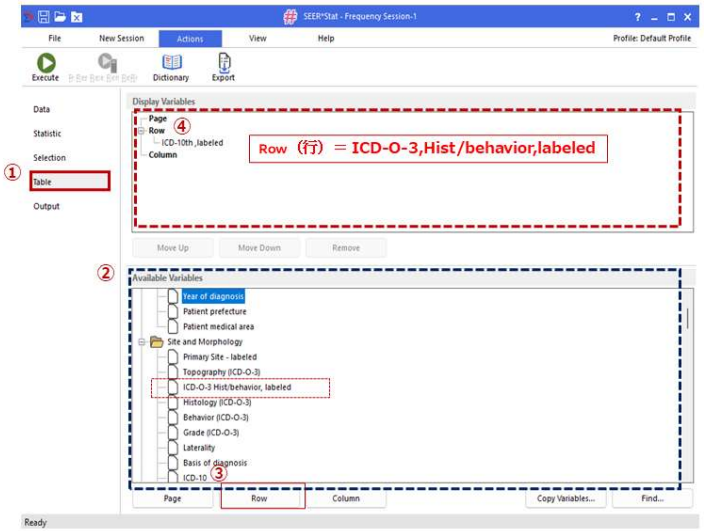
⑤「Selection Line Construction」の⑥「Variable」メニューから、「Other」を選択して
⑦「target－statistics」を選択し、
⑧ 「Values」に選択された「Eligible （IARC/IACR rule) を選択する
⑨「Selection Statement Line」に表示される。⑨「OK」をクリック



⑪「Selection Statement」にSelectionで指定した値が表示される。
⑫条件が設定できたらOKをクリックする

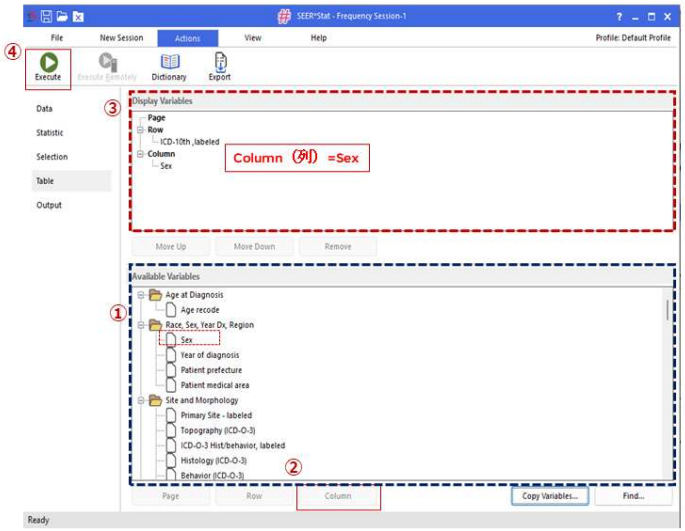


5. ①メニューの「Table」をクリック。
②「Available Variables」から「Site and Morphology」の中の「ICD-O-3,Hist/behavior,labeled」を選択して、③「Row」選択する。
④Display Variablesに設定される。



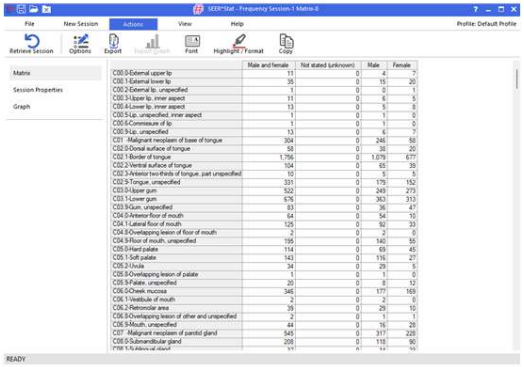
※ Available Variables に変数を追加する方法は、
⑧その他（オプション） – Dictionary設定 – で、fmxファイルの追加の設定ができます。

6. ①「Available Variables」から「Race,Sex,Year Dx,Region」の中の「Sex」を選択して、②「Column」選択する。
③Display Variablesに設定される。④「Execute」をクリックする



※ Available Variables に変数を追加する方法は、
⑧その他（オプション） – Dictionary設定 – で、fmxファイルの追加の設定ができます。

7. 実行結果が表示される

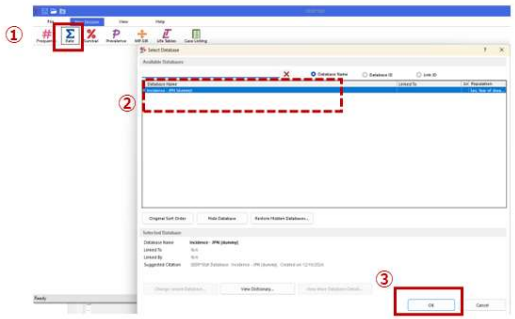


lesson2

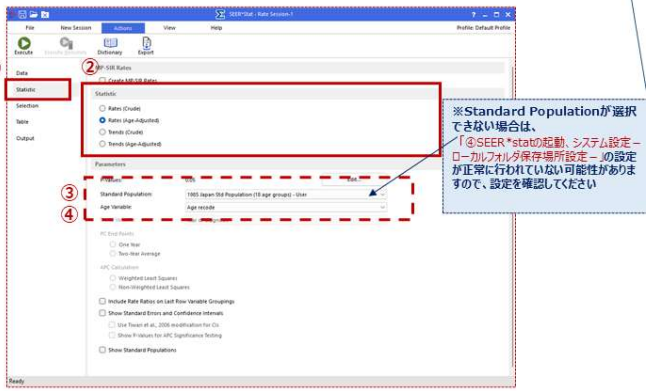
1. ①「**年齢調整罹患率**」を算出する

	Male and female	Male and female	Male and female	Not stated (unknown)	Not stated (unknown)
	Rate	Count	Pop	Rate	Count
8000/0: Neoplasm, benign	0	1,061	1,811,741,000	~	0
8000/1: Neoplasm, uncertain whether benign or malignant	0	849	1,811,741,000	~	0
8000/3: Neoplasm, malignant	0.5	19,436	1,811,741,000	~	0
8001/0: Tumor cells, benign	0	1	1,811,741,000	~	0
8001/3: Tumor cells, malignant	0	148	1,811,741,000	~	0
8002/3: Malignant tumor, small cell type	0	2	1,811,741,000	~	0
8003/3: Malignant tumor, giant cell type	0	0	1,811,741,000	~	0
8004/3: Malignant tumor, spindle cell type	0	5	1,811,741,000	~	0
8005/3: Malignant tumor, clear cell type	0	2	1,811,741,000	~	0
8010/0: Epithelial tumor, benign	0	3	1,811,741,000	~	0
8010/2: Carcinoma in situ, NOS	0	540	1,811,741,000	~	0
8010/3: Carcinoma, NOS	0	1,428	1,811,741,000	~	0
8011/0	0	1	1,811,741,000	~	0
8011/3: Epithelioma, malignant	0	2	1,811,741,000	~	0
8012/3: Large cell carcinoma, NOS	0	159	1,811,741,000	~	0
8013/3: Large cell neuroendocrine carcinoma	0	456	1,811,741,000	~	0
8015/3: Glassy cell carcinoma	0	5	1,811,741,000	~	0
8020/3: Carcinoma, undifferentiated type, NOS	0	330	1,811,741,000	~	0
8021/3: Carcinoma, anaplastic type, NOS	0	48	1,811,741,000	~	0
8022/3: Pleomorphic carcinoma	0	261	1,811,741,000	~	0
8031/3: Giant cell carcinoma	0	5	1,811,741,000	~	0
8032/3: Spindle cell carcinoma	0	43	1,811,741,000	~	0
8033/3: Pseudosarcomatous carcinoma	0	54	1,811,741,000	~	0
8035/3: Carcinoma with osteoclast-like giant cells	0	4	1,811,741,000	~	0

2. ①「 Σ Rate Session」をクリックする。
② Database NameからDatabaseを選択して、③OKをクック

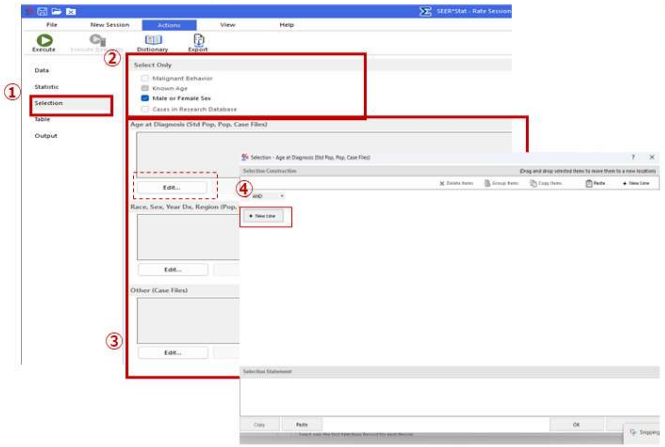


3. ①メニューの「Statistic」をクリックする。②「Statistic」から「Rates（Age-Adjusted）」を選択する。
③ Standard Populationから、「1985 Japan Std　Population･･･」を選択し、
④ Age Variableから「Age recode」を選択する。

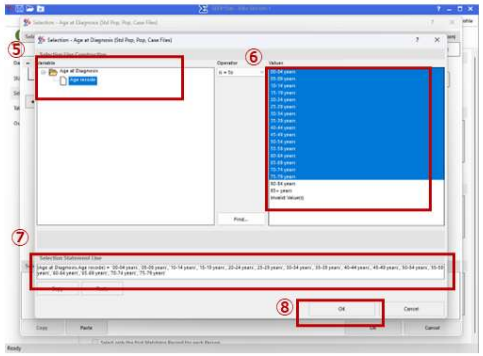


⑥ Rate（率）の使用方法

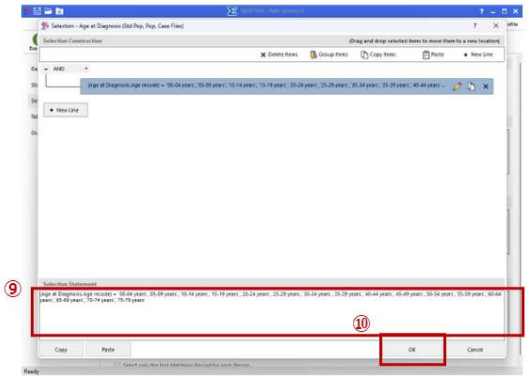
4. ①メニューの「Selection」をクリックする。
② 「Select Only」で「Male of Female Sex」を選択し、
「Age at Diagnosis･･」の中の、③「Edit..」をクリックし、
「Case Selection」を開き、④「New Line」をクリック



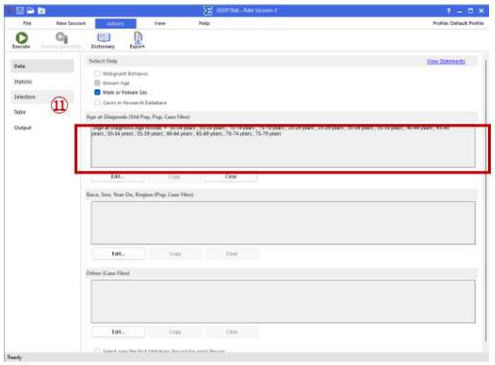
⑤「Variable」メニューから「Age recode」選択すると、
⑥「Values」に選択された変数の値が表示されるので、00-79years選択する
⑦「Selection　Statement　Line」に設定内容が表示される。⑧「OK」をクリック



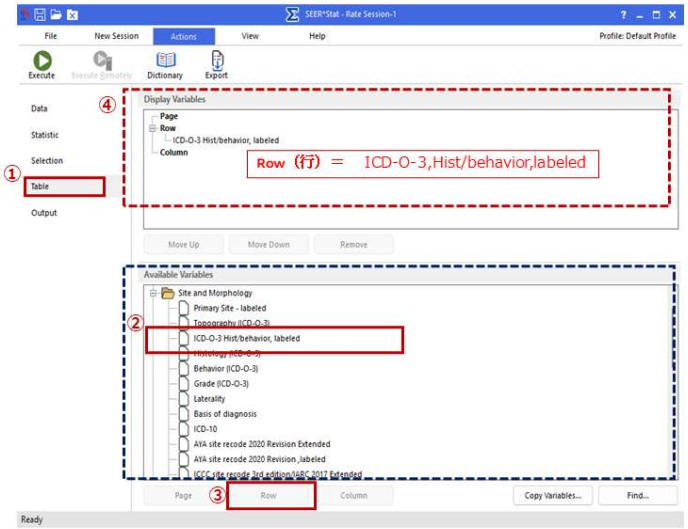
⑨「Selection Statement」にSelectionで指定した値が表示される。
⑩条件が設定できたらOKをクリックする



「Age at Diagnosis‥」に⑪条件が設定される

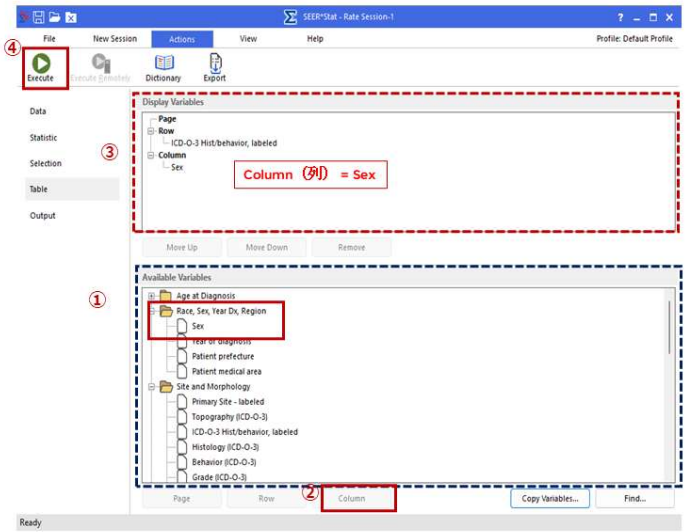


5. ①メニューの「Table」をクリック。「Available Variables」から、
②「ICD-O-3,Hist/behavior,labeled」を選択して、
③「Row」をクリックすると、④「Display Variables」に設定される。



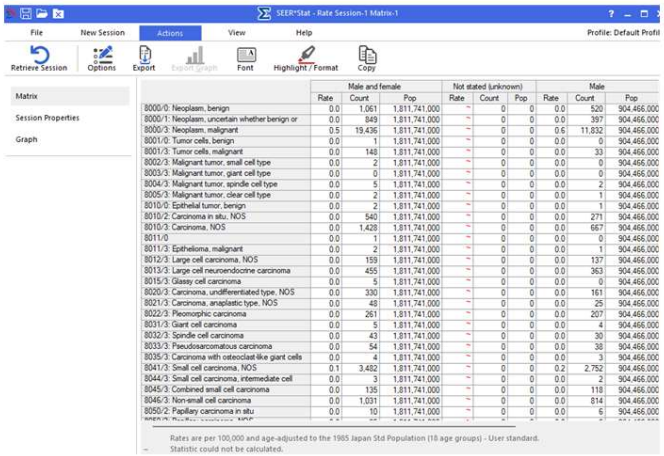
※ Available Variables に変数を追加する方法は、
⑧その他（オプション） – Dictionary設定 – で、fmxファイルの追加の設定ができます。

6.「Available Variables」から①「Race,Sex,Year Dx,Region」の中の「Sex」を選択して、②「Column」選択する。
③Display Variablesに設定される。④「Execute」をクリックする



※ Available Variables に変数を追加する方法は、
⑧その他（オプション） – Dictionary設定－で、fmxファイルの追加の設定ができます。

7. 実行結果が表示される



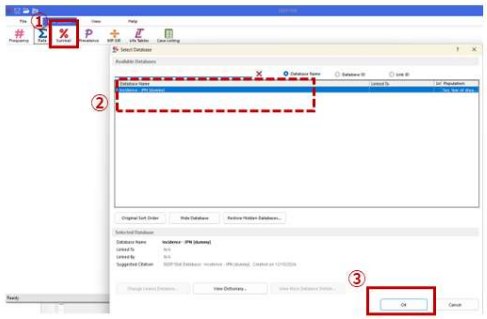
1. ①「生存率」を算出する

Cumulative Summary

	N	Median Obs	Median W Obs	Median Net Rel	Observed	W Observed	W Expected	Net Relative
C00-C96,000-D09 Malignant neoplasms (inc.in situ)	12 mo	439,095 ↑	↑	↑	77.50%	77.30%	97.30%	79.50%
C00-C96,000-D09 Malignant neoplasms (inc.in situ)	24 mo	439,095 ↑	↑	↑	59.50%	59.10%	94.70%	62.90%
C00-C96,000-D09 Malignant neoplasms (inc.in situ)	36 mo	439,095 ↑	↑	↑	54.40%	53.70%	91.90%	58.30%
C00-C96,000-D09 Malignant neoplasms (inc.in situ)	48 mo	439,095 ↑	↑	↑	50.50%	50.50%	89.00%	56.80%
C00-C96,000-D09 Malignant neoplasms (inc.in situ)	60 mo	439,095 ↑	↑	↑	↑	55.40%	86.10% ↑	↑
C15.0001 Malignant neoplasm of oesophagus (inc.in situ)	12 mo	9,593	36.21	35.01	52.2	70.00%	69.90%	97.40%	71.70%
C15.0001 Malignant neoplasm of oesophagus (inc.in situ)	24 mo	9,593	36.21	35.01	52.2	56.70%	56.50%	94.90%	59.50%
C15.0001 Malignant neoplasm of oesophagus (inc.in situ)	36 mo	9,593	36.21	35.01	52.2	50.10%	49.70%	92.20%	54.00%
C15.0001 Malignant neoplasm of oesophagus (inc.in situ)	48 mo	9,593	36.21	35.01	52.2	45.80%	45.30%	89.40%	50.90%
C15.0001 Malignant neoplasm of oesophagus (inc.in situ)	60 mo	9,593	36.21	35.01	52.2 ↑	↑	43.20%	86.60% ↑	↑
C18-C20,D10-D12 Malignant neoplasm of colon and rectum (inc. in situ)	12 mo	74,030 ↑	↑	↑	↑	84.00%	83.80%	97.40%	86.10%
C18-C20,D10-D12 Malignant neoplasm of colon and rectum (inc. in situ)	24 mo	74,030 ↑	↑	↑	↑	71.20%	70.80%	94.70%	81.10%
C18-C20,D10-D12 Malignant neoplasm of colon and rectum (inc. in situ)	36 mo	74,030 ↑	↑	↑	↑	72.10%	71.50%	91.90%	77.80%
C18-C20,D10-D12 Malignant neoplasm of colon and rectum (inc. in situ)	48 mo	74,030 ↑	↑	↑	↑	67.90%	67.00%	89.00%	75.30%
C18-C20,D10-D12 Malignant neoplasm of colon and rectum (inc. in situ)	60 mo	74,030 ↑	↑	↑	↑	↑	62.70%	86.00% ↑	↑
C18,D10 Malignant neoplasm of colon (inc. in situ)	12 mo	50,059 ↑	↑	↑	↑	83.10%	82.90%	97.20%	85.40%
C18,D10 Malignant neoplasm of colon (inc. in situ)	24 mo	50,059 ↑	↑	↑	↑	76.20%	75.80%	94.70%	80.40%
C18,D10 Malignant neoplasm of colon (inc. in situ)	36 mo	50,059 ↑	↑	↑	↑	71.20%	70.60%	91.30%	77.30%
C18,D10 Malignant neoplasm of colon (inc. in situ)	48 mo	50,059 ↑	↑	↑	↑	67.20%	66.20%	88.10%	75.20%
C18,D10 Malignant neoplasm of colon (inc. in situ)	60 mo	50,059 ↑	↑	↑	↑	↑	61.90%	84.90% ↑	↑

2.

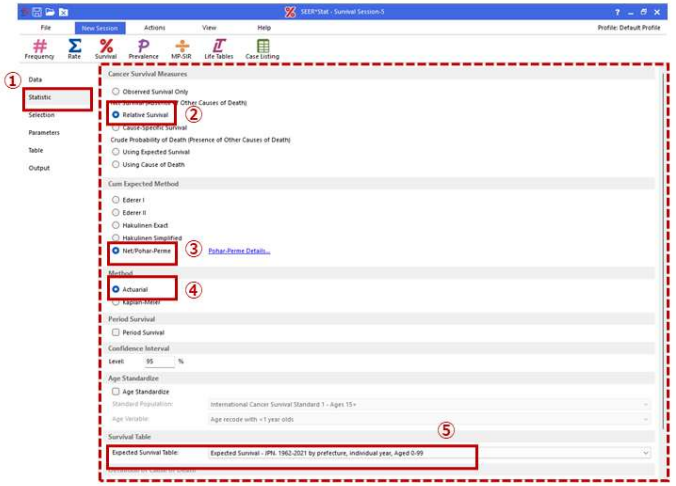
① メニューの「 Survival」をクリックする。それぞれ必要な項目を選択する
② Database NameからDatabaseを選択して、③OKをクック
※アラートが出る場合がありますがOKをクリックする



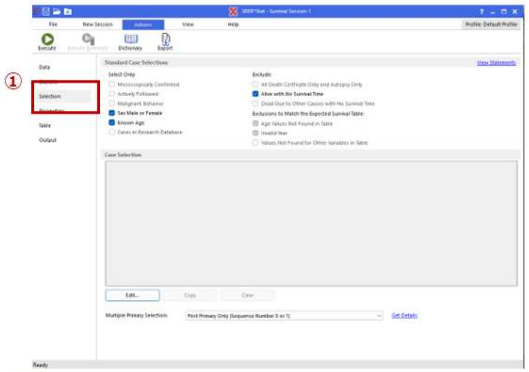
⑦ Survival（生存率）の使用方法

3.

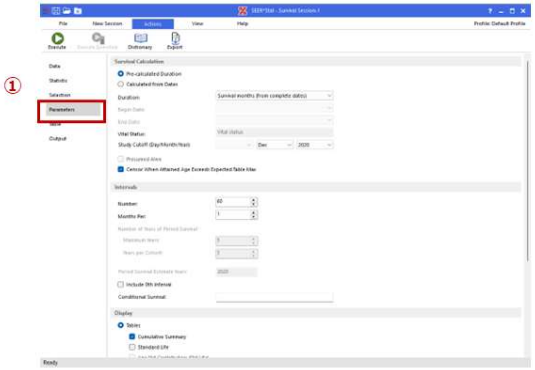
① メニューの「Statistic」をクリックする。それぞれ必要な項目を選択する
② Cancer Survival Measures⇒「Relative Survival」を選択
③ Cum Expected Method⇒「Net/Pohar-Perme」を選択
④ Method⇒「Actuarial」を選択
⑤ Survival Table⇒
「Expected Survival-JPN.1962-2021 by Prefecture,･･･」を選択



4. ① メニューの「Selection」をクリックする。
今回の算出ではデフォルトの設定を使用するため、設定は行わない。
（※Selectionの設定を行う場合はここで設定を行う）

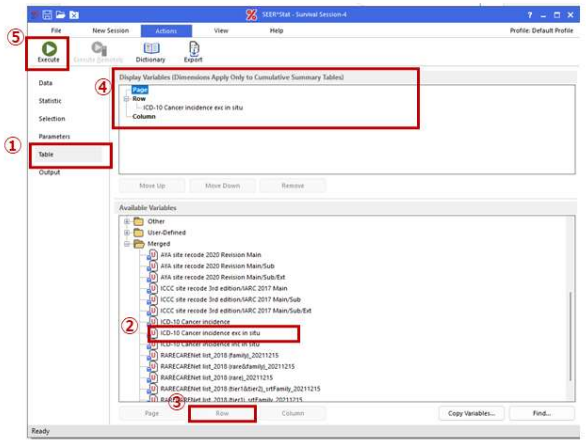


5. ① メニューの「Parameters」をクリックする
今回の算出ではデフォルトの設定を使用するため、設定は行わない。
（※ Parametersの設定を行う場合はここで設定を行う）

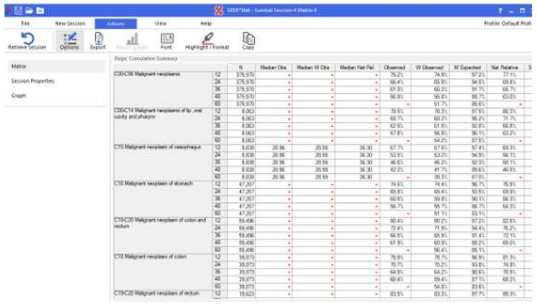


⑦ Survival（生存率）の使用方法

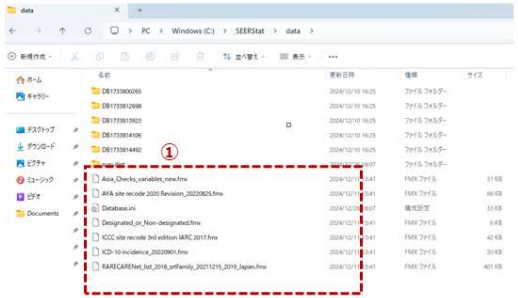
6. ① メニューの「Table」をクリックし、②Available Variablesの中の「Merged」の「ICD-10 Cancer incidence exc in situ」を選択して、③「Row」をクリック
④Display VariablesのRowに、“ICD-10 Cancer incidence exc in situ”が表示される
⑤実行「Execute」クリック



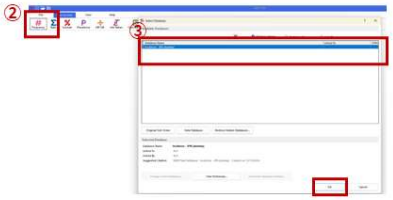
7. 実行結果が表示される



1. ①提供された「・・.fmx」ファイルを保存する
例として、（ C:¥SEERStat¥data）に保存する
（ ※日本語ファイル名は不可）

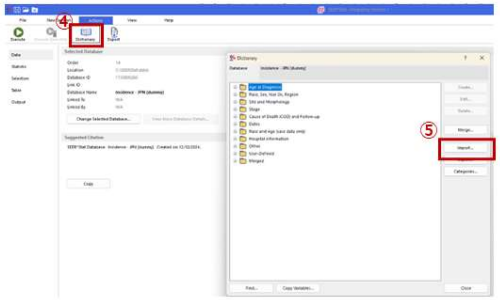


2. ② **Frequency**をクリックして、③ **Database Name**からDatabaseを選択して、
をOKをクリックする

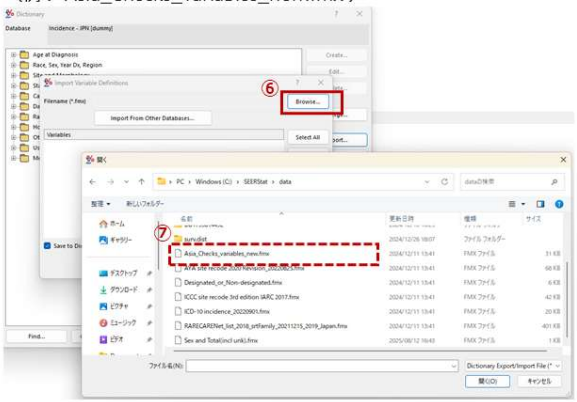


⑧その他（オプション）
－ Dictionary設定-1 －

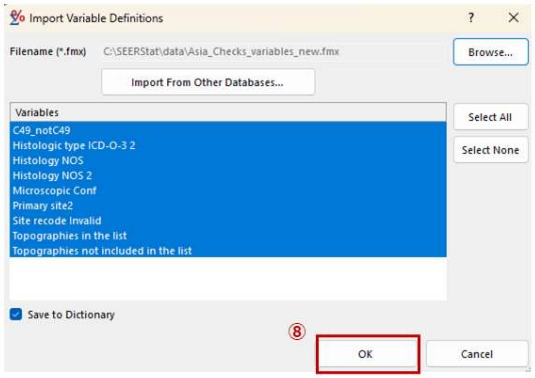
3. ④**Dictionary**をクリックして、開いて、 ⑤ **import**をクリックする



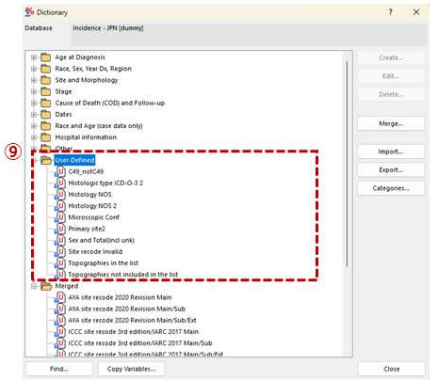
4. ⑥ **Browse**をクリックして、インポートしたい⑦ fmxファイルを指定する。
（例： Asia_Checks_variables_new.fmx ）



5. 正常にファイルが読み取られると、「Variables」に表示されるので、
確認をして⑧OKをクリック

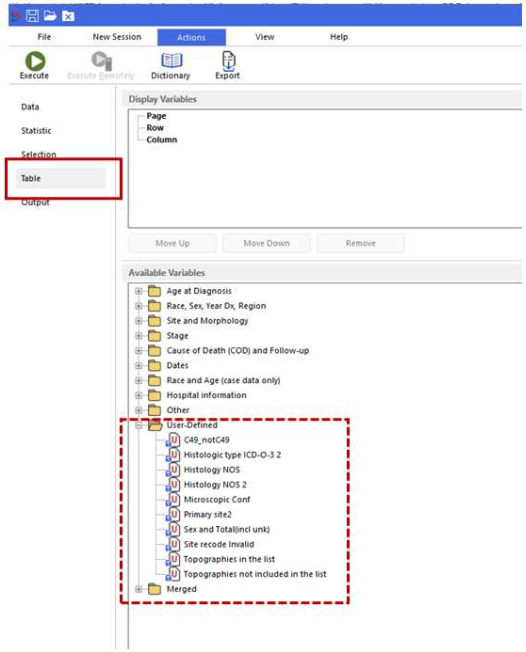


6. ⑨ 読み込まれたファイルを確認する



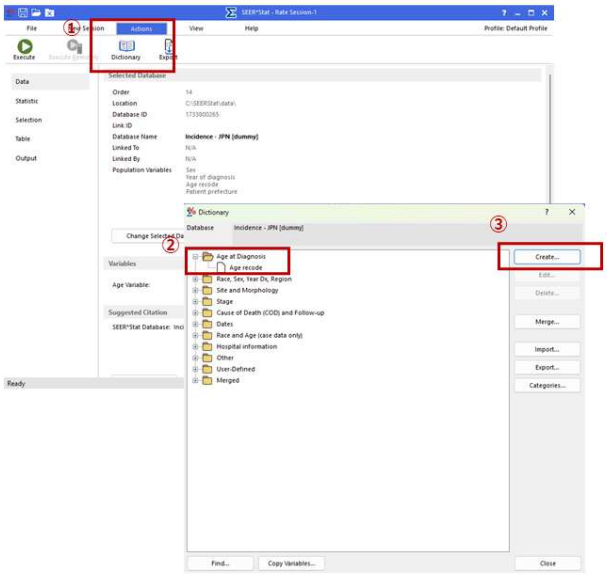
⑧その他（オプション）
－ Dictionary設定-1 －

7. 各セッションの、「Table」で選択することができる



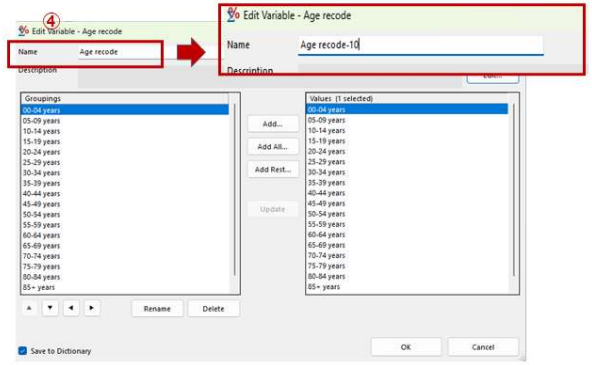
1. Dictionaryの設定をoriginalで作成して保存をする
例として年齢階級を10歳階級のオリジナルの設定を作成する。

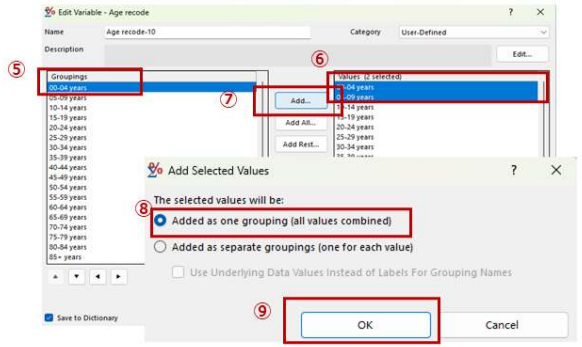
①メニューのActionsのDictionaryをクリック。
②「Age at Diagnosis」の「Age recode」をクリックし、
③Create..をクリック。



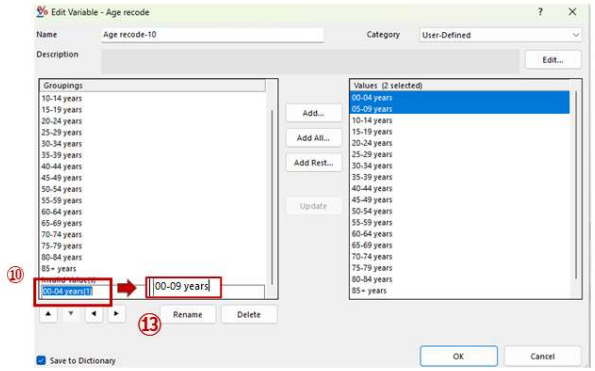
⑧その他（オプション）
－ Dictionary設定-2 －

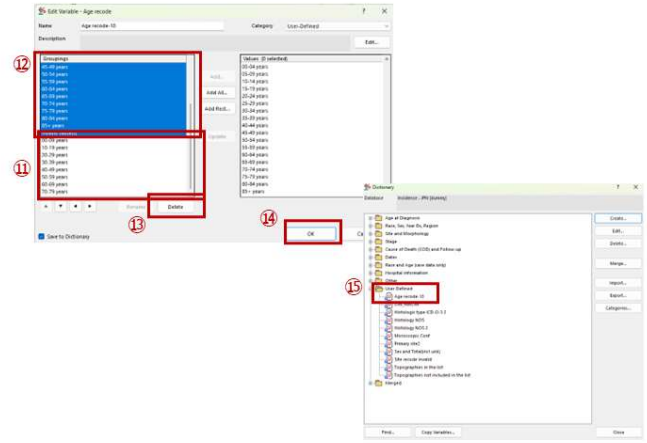
2. ④name を変更する。「Age recode」⇒「Age recode-10」（例）
⑤Groupingsの「00-04 years」をクリックして、⑥ Valuesの、
「00-04years」「05-09years」を選択し、⑦「Add」をクリック
⑧「Added as one grouping(all values combined)」を選択し⑨「OK」をクリック





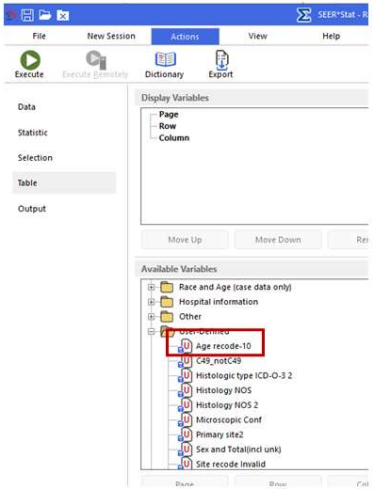
3. ⑩変数名を変更する。「00-04 years」⇒「00-09years」（例）
10歳以上の年連階級の作成は、繰り返し、⑤～⑩を行い⑪作成をする
⑫「00-04 years」から「Invalid Values(S)」を選択し、⑬「Delete」をクリックし、
⑭OKをクリック。作成した設定ファイルは、⑮「User-Defined」に「Age recode-10」に表示される。

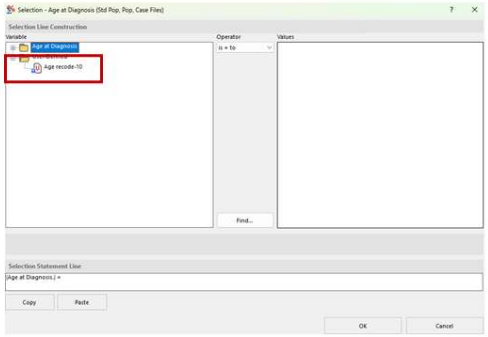




⑧その他（オプション）
－ Dictionary設定-2 －

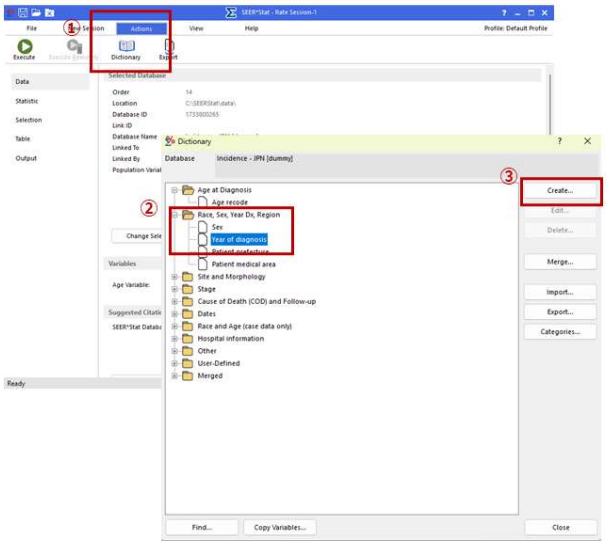
4. 作成された、「Age recode-10」は、各セッションのvariableの「User-Defined」から選択ができる。





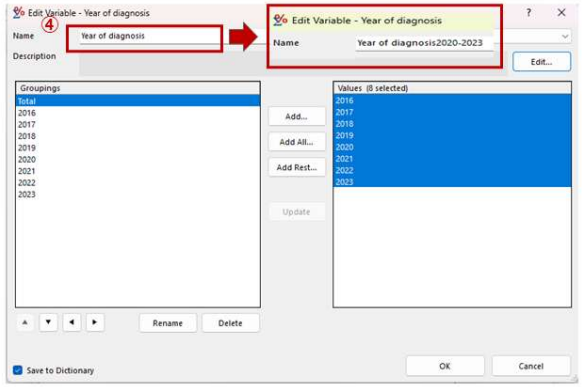
1. Dictionaryの設定をoriginalで作成して保存をする
年齢をプールしてオリジナルの設定を作成する。

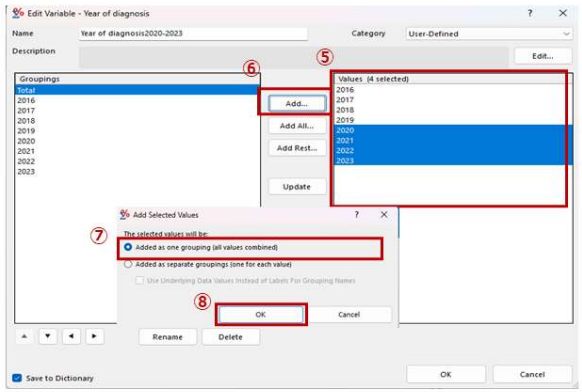
① メニューのActionsのDictionaryをクリック。
②「Race,Sex,Year,Dx,Region」の「Year of diagnosis」をクリックし、
③Create..をクリック。



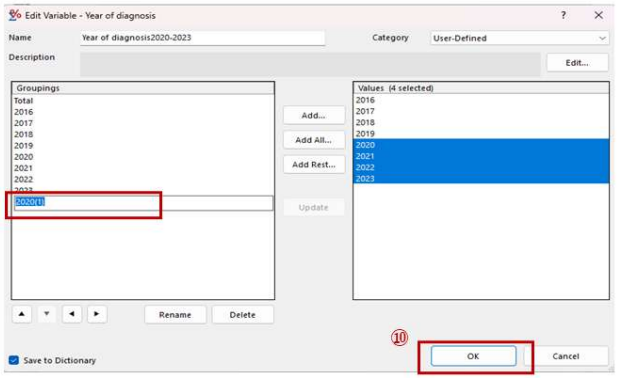
⑧その他（オプション）
－ Dictionary設定-3 －

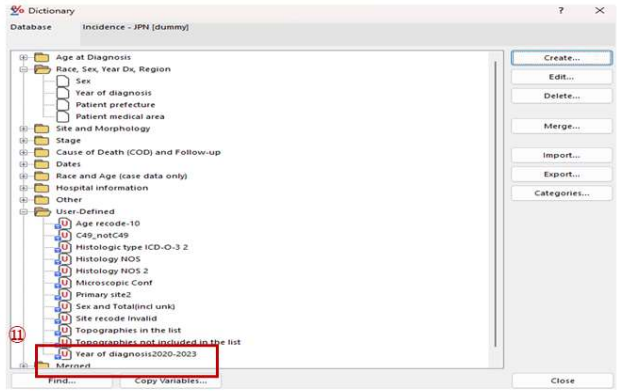
2. ④name を変更する。「Year of diagnosis」⇒「Year of diagnosis2020-2023」（例）
⑤Valuesの「2020から2023」を選択して、⑥「Add」をクリック
⑦「Added as one grouping(all values combined)」を選択し⑧「OK」をクリック





3. ⑨変数名を変更する。「2020（1）」⇒「2020-2023」（例）
⑩ OKをクリック。
⑪作成した設定ファイルは、
「User-Defined」に「Year of diagnosis2020-2023」が作成される





4. 作成された、「 Year of diagnosis2020-2023 」は、各セッションのvariableの「User-Defined」から 選択ができる。

